

令和 3 年度 「ふれあい地域懇談会」 報告書

＜ 玉縄地域 ＞

日 時	令和 3 年 7 月 13 日（火） 午後 2 時～ 4 時
場 所	玉縄学習センター 第 4 集会室
出 席 者	自治会・町内会代表 団体：22名 地域団体代表 団体：7名 計29名 鎌倉市 8名
内 容	<p>第 1 部 市長からの説明..... P. 1 「新型コロナワクチンの接種状況、今後のまちづくりについて」</p> <p>第 2 部 地域の懸案事項に関する報告..... P. 16 ① 岡本二丁目マンション跡地について</p> <p>第 3 部 本年度の地域の議題に関する懇談..... P. 19 ① 「感染症の流行を” 災害” と捉えた地域防災計画の見直しと再編」 ② 県道 304 号線、山崎跨線橋南～鎌倉武道館東側の渋滞問題に関して ③ ごみ焼却炉について ④ 市庁舎と（仮）村岡新駅について ⑤ 鎌倉グランマークス前の市道の休日（特に土曜日）における渋滞について</p>

出席者名簿 (敬称略)

【自治会・町内会等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	台新町自治会	大嶋 一成	会長
2	新富町町内会	高田 隆	会長(司会)
3	坂本町町内会	市川 要	副会長
4	観音山町内会	塩田 丈嗣	会長
5	山王町内会	水上 浩志	会長
6	岡本町内会	河瀬 亜希	会長
7	D I Kマンション自治会	角田 時子	会長
8	鎌倉ロジュマン自治会	藤原 健司	会長
9	植木町内会	山崎 一二	会長
10	東急トリアル鎌倉植木管理組合	佐々木 稔	会長
11	鎌倉岡本ガーデンホームズ自治会	鈴木 康夫	会長
12	四季の杜自治会	齋藤 哲也	会長(オンライン)
13	ラシェール鎌倉岡本ハイライズ自治会	大崎 孝男	副会長
14	レックスガーデン鎌倉岡本自治会	遠藤 泰子	会長
15	鎌倉グランマックス自治会	白井 克実	会長
16	玉縄台自治会	草道 博	会長
17	関谷城廻町内会	正木 重郎	会長
18	城廻自治会	渡辺 寿三	会長
19	星和城廻自治会	浜田 修	会長(オンライン)
20	城廻清水小路自治会	石井 辰男	会長
21	新風台自治会	圓谷 光	会長
22	ガーデンハイツ鎌倉玉縄自治会	三好 和人	会長

【その他の団体等】

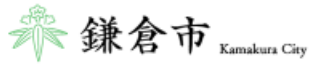
	団 体 名	氏 名	備 考
1	玉縄地区社会福祉協議会	小川 サヨ子	
2	第9地区民生委員・児童委員協議会	深見 正美	
3	鎌倉老人クラブ連合会 玉縄地区	高沢 正義	
4	鎌倉市青少年指導員連絡協議会(玉縄地区)	平野 守久	
5	鎌倉市社会福祉協議会	和智 章宏	
6	玉縄地域アセスメント推進会議	曾田 健二	
7	玉縄地区防災会議	江上 健	

【鎌倉市】

	役 職	氏 名	備 考
1	鎌倉市長	松尾 崇	
2	市民防災部長	齋藤 和徳	
3	総務部長	内海 正彦	
4	健康福祉部長	田中 良一	
5	環境部長	能條 裕子	
6	まちづくり計画部長	林 浩一	
7	都市整備部長	森 明彦	
8	玉縄支所長	高橋 勇一	

第1部 市長からの説明

【全地域共通】



令和3年度 ふれあい地域懇談会

第1部 市長からの報告

鎌倉市長 松尾 崇

鎌倉市のコロナワクチン接種

○ コロナワクチン接種の概要

・ 4/24から、市内の高齢者施設入居者を対象に接種を開始。

・ 5/16から、一般の65歳以上の高齢者を対象に市内接種会場で集団接種を開始。



○ ワクチンの供給状況

4 April 2021							5 May 2021							6 June 2021							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3							1								
4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12			
クーポン券送付				11	1箱	17	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19		
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	23箱	21	22	23	24	25	26	
25	26	27	28	29	30		24	25	26	27	28	29	27	28	29	30					
1箱							30	31													

4月17日	1箱 (975回分)
4月26日の週	1箱 (975回分)
5月3日の週	6箱 (5,850回分)
5月10日の週～5月17日の週	19箱 (22,230回分)
5月24日の週～5月31日の週	21箱 (24,570回分)
6月7日の週～6月14日の週	23箱 (26,910回分)
6月21日の週から6月28日の週	23箱 (26,910回分)
7月5日の週から7月12日の週	23箱 (26,910回分)
7月19日の週から7月26日の週	23箱 (26,910回分)

7 July 2021						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
23箱	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
23箱	19	20	21	22	23	24
23箱	26	27	28	29	30	31

○ **接種実績（65歳以上）** ※市・県7/14時点 国7/17時点

	1回目接種完了	2回目接種完了
鎌倉市	83.80%	51.64%
全国	81.35%	56.76%
神奈川県	80.27%	49.68%

鎌倉市のワクチン接種スケジュール（64歳以下の方）

接種対象者	接種券発送予定	予約受付開始時期	接種開始時期
60歳～64歳の方	7月6日（火）	クーポン券（接種券）が届き次第	7月中旬
基礎疾患を有する方（59歳以下） 高齢者施設等の従事者（59歳以下）	7月8日（木）から 7月12日（月）	【①7/5までに申請した人】※1 7月12日（月）AM9時～7月25日（日） 【②7/15までに申請した人】※2 ※3 7月18日（日）AM9時～7月25日（日）	7月中旬
40歳～59歳の方	7月8日（木）	59歳の方 7月15日（木）AM9時～ 56～58歳の方 7月20日（火）AM9時～ それ以外の方の予約受付・接種開始時期は未定	7月下旬
16歳～39歳の方	7月12日（月）から順次	未定	未定

※1 6月16日（水）から7月5日（月）に市ホームページから事前申請をした方

※2 7月10日（土）から7月15日（木）に市ホームページから事前申請をした方

※3 海外留学を予定している方を追加。事前申請期間は※2と同じ。接種開始時期は7月下旬

○接種の同意について

- ・ 受ける方の同意がある場合のみ接種する。
- ・ 強制ではありません。
- ・ 接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的扱いをしてはいけません。

深沢のまちづくりのテーマ

まちづくりのテーマ 「ウェルネス」

- ・ 健康な心身を維持・発展させる生活行動
- ・ 人々のクオリティ・オブ・ライフ（生活の質）の向上



こころとからだの健康を育むまち

歩いて楽しいウォークアブル

- ・ウェルネスのまちづくりを実現する第一歩
- ・居心地がよく歩きたくなるまちなみ
- ・車中心から「人間中心」の街路空間の形成



あらゆる人と環境にやさしいまち

災害に強い防災拠点

- ・グラウンドや体育館を含む行政施設街区が一体となった防災拠点
- ・防災活動をきっかけとした豊かなコミュニティ形成



イノベーションを生み出すまち

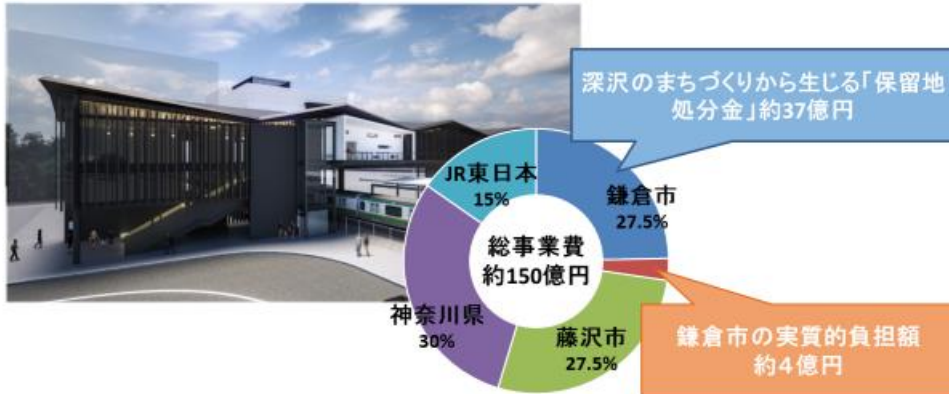
産官学民のコラボレーション

- ・ヘルスケア産業の最先端拠点形成を目指すまち
- ・先進的な産業施設の育成と産業複合地の整備
- ・産業拠点の整備による持続可能な都市経営の実現



JR東海道本線新駅について

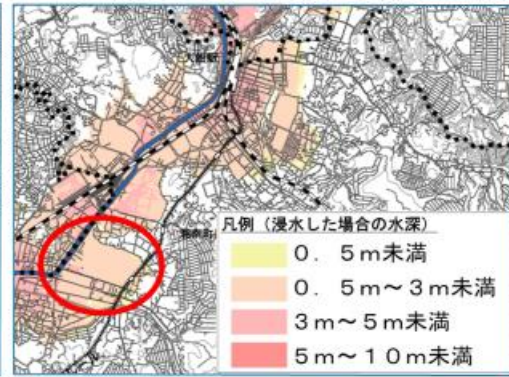
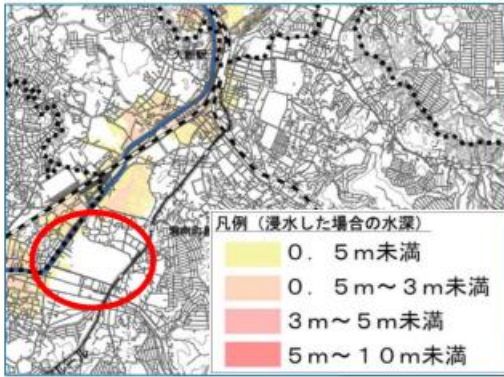
JR東日本、神奈川県、藤沢市、本市の4者でJR大船駅⇄藤沢駅間の新駅設置に合意しました。



深沢地域の浸水想定範囲について

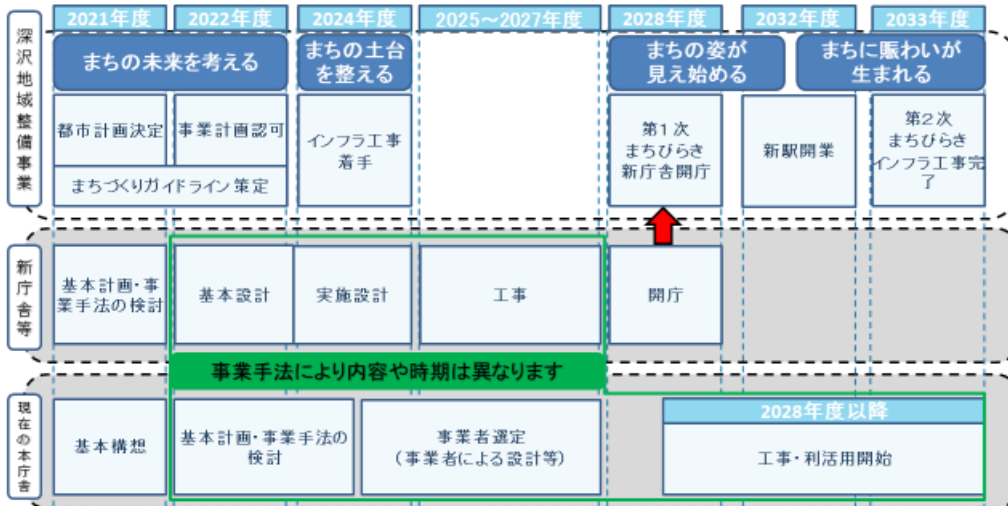
計画規模
(24時間で302mm雨が降った場合)

想定最大規模
(24時間で632mm雨が降った場合)



出典：平成30年1月26日付神奈川県告示第44号「境川水系船尾川洪水浸水想定区域図」

今後のスケジュール案(2021年7月現在)



行かなくてもいい市役所に



○申請・届出のオンライン化

申請・届出をオンラインで受け付ける手続きを順次拡大していきます。現在、申請・届出で25の手続き、イベント等で34の手続きが利用可能です。



○キャッシュレス決済の導入

従来、銀行の窓口やコンビニで、納付書により現金で支払っていた市税や国民健康保険料を、クレジットカードやスマートフォンを使ってコード決済アプリでの支払いができるようにします。

13

スマートシティの取組



ZOOM（オンライン）会議



地域コミュニティの活性化



AI人工知能・小型モビリティ



スムーズな移動環境の確保

今後のごみ処理方針

『安定的なごみ処理体制の構築→第3次鎌倉市一般廃棄物処理基本計画の見直し』

平成31年（2019年）3月 将来のごみ処理体制についての方針

- 新焼却施設を建設せず、「ゼロ・ウェイスト」をめざして、ごみの減量・資源化を実施。
- 家庭系燃やすごみの約半分を占める生ごみと紙おむつの資源化、事業系ごみの資源化により令和2年度（2020年度）から令和11年度（2029年度）までの10年間で、年間3万トンある燃やすごみを1万トンまで削減。

※令和11年度（2029年度）想定

燃やすごみ合計	28,708t	削減量合計	18,853t	焼却量合計	9,855t
家庭系ごみ	18,643t	家庭系ごみ計	8,788t	家庭系ごみ	9,855t
事業系ごみ	10,065t	・生ごみ	6,371t	事業系ごみ	0t
		・紙おむつ	1,485t		
		・分別徹底	932t		
		事業系ごみ	10,065t		
		・生ごみ	2,253t		
		・紙おむつ	762t		
		・分別徹底	393t		
		・混合ごみ	6,657t		

方針を実現するための施策～燃やすごみ1万トン達成に向けて～



■ 生ごみ資源化施設の整備

- 好気性の微生物を活用した最適な施設の整備方法及び収集体制の検討
- 施設候補地周辺住民に対する丁寧な説明の実施



■ 紙おむつの資源化

- 先進自治体や民間事業者の資源化に向けた進捗状況確認、費用対効果の検証

■ 事業系ごみの最適な資源化

- 生ごみの登録再生利用事業者への誘導
- 混合ごみの縦型乾式メタン発酵事業等による資源化
- 事業系ごみ処理手数料の見直し

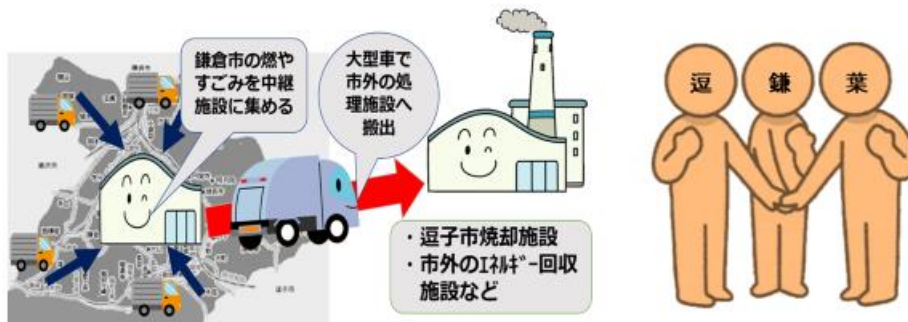


■ 中継施設の整備

- 燃やすごみを逗子市焼却施設や民間事業者の処理施設に効率良く運搬
- 名越クリーンセンター稼働停止後の跡地に整備予定

令和2年(2020年)8月 鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画

- 令和6年度（2024年度）末の名越クリーンセンター稼働停止後、令和7年度（2025年度）以降は逗子市の既存焼却施設において共同処理を実施。
- 逗子市の既存焼却施設稼働停止後は、鎌倉市に整備した中継施設に2市1町のごみを受け入れ、さらなる広域連携、民間事業者の資源化施設での処理を想定。



「より良い社会に向けた、人や社会、環境に配慮した消費行動」

～ エシカル消費 ～

人権や環境に対して十分に配慮された商品やサービスを選択して買い求めること

私たちが使う商品やサービスの裏側に

「どのような背景があり、どんな人がどのような場所で作っているのか」と考えたことがありますか？

整った？劣悪な？労働状況なのか、環境に優しい？大きな負荷をかけている？等、様々な状況があると思います。皆で消費について考えてみましょう。

消費の選択が未来をつくります

12 つくる責任
つかう責任



持続可能な開発目標(SDGs)の12番目「つくる責任 つかう責任」の中で「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられており、エシカル消費を行うことで目標に近づくことができます。

再生可能エネルギー100%電気を導入



市役所本庁舎

鎌倉市役所本庁舎等57施設について、温室効果ガス排出量の削減を行うため、再生可能エネルギー100%電気を導入。

- ・導入期間（契約期間）
令和3年(2021年)2月1日から令和6年(2024年)1月31日
- ・57施設の年間使用電気量
約1,026万kWh（令和元年度実績、市施設全体使用量の29.5%）
- ・年間削減CO₂量・削減効果
約4,800t-CO₂削減・約1,156世帯分、杉の木約342,857本分

令和3年、海水浴場の開設を断念



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、海水浴場の開設はしませんが、以下の安全対策を講じてまいります。

- ・ライフガードを配置して海岸を監視
- ・警備員を配置して、来訪者へ注意喚起
- ・来訪者への注意喚起看板の設置

◆今年、「遊泳ゾーン」や「臨時のトイレ・シャワー」はありません

◆次の行為はご遠慮ください



飲酒



喫煙



BBQや
火の使用



音響機器等の
使用

ご清聴ありがとうございました

第1部 市長からの説明に対する意見・質疑

<ガーデンハイツ鎌倉玉縄自治会 三好会長>

市長さんからのご説明の中で深沢地区の再開発関係ですが、特に私はこの開発そのものに対して反対だとか、そういうことは一切しておりません。

気になる点が、当初、2年か3年ぐらい前だったと思いますが、あそこが浸水危険区域だということで、この同じ場で意見を述べさせていただいたのですが、その後の計画の改定の中で敷地の一部に地下貯留槽をお作りになった部分があります。それは、私もいいことだなと思いますが、いかんせん河川の規模に対して、貯留槽が少し小さいかなという感じがします。同じような例が今の渋谷の再開発がありまして、そこは各ビルの地下に行政指導で貯留槽を造らせて、ある程度の量を確保しているというような事例もございますので、その点をちょっとご再考いただければと思っております。

それから、もう一つは、同じ場所に災害が発生したということを想定した場合に消防本部と市の災害対策本部が同じ場所にある。これは一挙にそこが被害を受けた場合は災害対策の指示、命令系統がダウンしてしまうリスクがございますので、私としては、消防本部と災害対策本部を設ける市役所が分離したほうがよろしいのではないかという考えを持っています。

<松尾市長>

深沢についての貯留槽の考え方につきましては、通常この規模であれば必要な量というのは、約8,000m³になりますが、今回その3倍の24,000m³を貯留槽の予定させていただいています。これが行政のまちづくりの中でしっかり行っているということで、プラス、今いただいたように各施設、各ビルの中で、それぞれに対応を行っていただく。これは必要だと考えておりまして、そのように進めていくと考えているところです。

それから、市役所と消防本部、リスク分担という話がございましたが、ここでのリスクは浸水です。この浸水につきましても最大浸水想定の中で市役所や消防本部の機能が停止しない対応をしっかりと考えていきますので、現時点としてはリスク分担のために、そこを別々の場所という計画は考えていない状況でございます。

<まちづくり計画部 林部長>

補足をさせていただきます。今、市長のほうからご説明があった24,000m³の貯留機能ということですが、深沢のまちづくりの整備地区の面積が約31ヘクタールあるのですが、最初に12,000m³の大きな貯留槽を区画整備事業でつくります。

それから、先ほど渋谷区のほうのご案内ありましたが、各街区の中に業務施設であるとか、あるいは商業施設であったり、あるいは住宅であったり、そういった建物の地下の部分に貯留施設を設置していく、これの合計でさらに12,000m³、合わせて24,000m³ということで余裕を持った貯留機能を確保するというのが、一つ目の補足になります。

1,000分の1の想定最大規模、24時間当たり632ミリという、もの凄い量の雨になるわけですが、そうなった場合であっても市庁舎の位置について、例えば、この白い路面が全体的に嵩上げ増量しますと、こちら側に柏尾川が流れていますが、ここに市役所ですとか消防本部、併せて災害対策本部も設置をいたしまして、ここについては水没しないということを計画の中で担保しているということでございます。

<ガーデンハイツ鎌倉玉縄自治会 三好会長>

私自身、実は1,000年に1度の災害で発電設備が水没した福島原子力発電所事故の経験をしておりますので、要は、何mかという話以前に想定雨量がどのくらいかというところから出発する問題ですね。それを貯めきれるかどうかということでございます。

それから、もう一つは、やはり二つの拠点が一つになることよってのリスクは、その後の非常時に電源、通信設備、そういうものが水没しない場所に設けられているか、これは間違いのないことですか。

<まちづくり計画部 林部長>

はい、そうです。

<鎌倉ロジュマン自治会 藤原会長>

一点は、ワクチンの接種。65歳以上の方で、未だいろんな都合で受けることができなかった、受けてない方達が予約しようとしても、予約サイトのどこにもない。コールセンターにも確認しましたが、来週からそういうところができるようなお話はありましたが、ネットに入った時に高齢者の方には多分できないと思います。この辺をもう少し明確にしていきたい。

深沢の件ですが、よくテレビでいろんなことを言われている市の方や議員さんもいらっしゃいますが、流動化につきましては、私が持っている知見の中では、3.11の時のみなどみらいを見てもらえば分かると思います。あそこは三菱造船がありました。その上に埋め立てしましたが、何年間という堆積の上に何万トンという工事をしているわけです。ですから、いろんな工場設備がある所で、今うちの近所だとナスラックのところは固い。では深沢には何がありますかと、鉄道、JRの車両が何トン、何万トンというものが毎日毎日出入りして、相当固められている。3.11の時に横浜というと、中華街の方、横浜公園の所を真っ直ぐにひび割れていましたよね。あそこは固まってなかった。

私が、それをなぜ言うかという、K-NET96という設備は、今どんどん進化して震度幾つですよという情報が流れますよね。あれの一番最初の仕事を私がやったんです。公になっているのですが、一番深い所でも岩槻市の所で3,800あります。だから、そういう所でもちゃんとしたものを作っていられちゃいますので、市長、全然心配しないで頑張ってください。

私、三十何年ここに住んでいますけども、外水してないんです。ほぼほぼ内水氾濫です。柏尾川が一杯になって脇の川の側溝から出られなくて内側に氾濫しています。ですから、そういう面では保水力がなくなっている、なんとか将来的にあそこの市営住宅を建て替えるのであれば、あそこの下に大きな池を作りたいと思っています。それは将来的なこと、こちらの地区は、内水氾濫が大半なので、今度、瀬谷に横浜市がああいうものを作っちゃった、また保水力がなくなるから、そのあたりを考えたときには、やはり大船駅西口の周りのところで駐輪場の下にありますから、ああいう形のものをつくっていただければと思っています。よろしくお願ひします。

<まちづくり計画部 林部長>

JRの用地の中心といたします深沢の整備事業用地について液状化の心配があると言われてはいますが、実際に深沢のところは大雨が降った後、2日、3日、水がはけないというようなこともあります。ただ、ご案内い

ただいたようにJRさんの工場があって、その昔は海軍工廠の工場があって、またJRさんの社宅が二つあります。柏尾社宅と梶原社宅とあって、土地利用がされていたという場所でございます。

液状化の心配はありますが、これについてもちゃんと調査しておりまして基本的に問題ないということが科学的な知見の中から示されておりますので、実際、工事をやっていく時に水が出てくるところは深沢だけではなく他にもあります。ですから、それについては水中コンクリートで固めるとか、その場合に水の流れはどうするかということも検討を始めていますので、しっかりと将来に渡って安定した地盤が確保できるような工事をやっていきたいと考えています。

それから、一昨年のもう豪雨の時に川が氾濫して大変な被害が出ましたが基本的にあれは堤防の決壊です。堤防があって水位が上がって堤防が壊れて堤防よりも低い所に水が流れてしまった。ご存知のように柏尾川は堀込河道になっています。そのため、ご案内のとおり内水氾濫、ここの水位が上がってきた時に流れ込む所が、例えば砂押川ですとか、他の川のところが流れなくなってしまい内水氾濫してきました。毎年のように駅前に水の被害がありましたが、柏尾川上流、戸塚の金井において遊水地の第1期工事が出来上がったことによって、かなり緩和されています。また、神奈川県の施工になります、住友電工のところは第2期の大きな遊水地を作るという計画が、ゆっくりですけど進んでいます。それから後は、瀬谷の開発の話もありましたが、やはり境川流域、柏尾川もそうですが、金井の遊水地などの整備も進んだことによって、かなり昔と違って水に浸るというリスクは軽減されています。これは少しずつですけど進んでいますので今後にも渡っても大きな被害が出ないようにされていくと思っています。また、深沢にも調整池を作るということもありますし、それ以外のまちづくりの中でも雨水の調整池というのは皆様にご協力いただいているところです。台調整池についても、下に大きいものを造ったことによって、大雨の時に機能しているということもあろうと思っています。

<健康福祉部 田中部長>

今、ワクチンのご予約の件でご指摘いただきまして、確かにトップページ、ワクチンの直接対応のところから入りますと、64歳以下の方、それから基礎疾患の方という表示になっています。そこからだと、おそらく予約はできなくて、通常の前からある予約サイトからだとは今は65歳以上の方しか予約はできないと認識しています。改めて確認させていただきまして、もし不都合がありましたら改善を検討してまいります。

《後日回答 健康福祉部 新型コロナウイルスワクチン接種担当》

当日ご案内したとおり、鎌倉市は年齢順に予約枠を開放しており、65歳以上の方の予約申込が落ち着いてから、64歳以下の方の予約を受け付ける対応といたしました。

ホームページについては、市トップページの上部バナーで予約受付状況を大きく表示するとともに、そこをクリックすると予約ページのサイトが開くようリンクを張りました。また、「新型コロナウイルスワクチン接種特設サイト」の見直しを行い、現在どの世代の方について予約を受け付けているかわかりやすく表示するとともに、お知らせ・最新情報の欄で更新状況を表示するようにいたしました。

65歳以上の方については7月末頃までに希望する方の接種をおおむね完了し、以降も順に年齢を下げながら接種をすすめているところであり、本市の接種率は県内でも上位となっています。

第2部

地域の懸案事項に関する報告

03 玉縄-1	岡本二丁目マンション跡地について
---------	------------------

令和3年度ふれあい地域懇談会（第二部） 回答票

番 号	03 玉縄-1
テ ー マ	岡本二丁目マンション跡地について
概 要	現状及び今後の予定について
担 当 部 課	都市整備部 道水路調査課 総務部 公的不動産活用課

議題に対する回答等

岡本二丁目マンション跡地については、隣接土地所有者と境界確定についての合意が得られないため、筆界特定制度を利用することとし、平成30年(2018年)3月16日付けで横浜地方法務局に申請を行い、平成31年(2019年)2月28日付けで筆界が特定された旨の通知がありました。

通知では、市の主張と異なる筆界であったことから、市長が隣接土地所有者と現地で面談し、改めて市の主張を申し上げ理解を求めましたが理解が得られませんでした。

令和2年(2020年)12月にも、本市職員が隣接土地所有者と面談を行おうとしましたが、日程調整ができませんでした。

このため、引き続き今後の対応について顧問弁護士に相談し、慎重に検討しているところです。

添付資料

第2部 「地域の懸案事項に関する報告」に対する意見・質疑

① 岡本二丁目マンション跡地について

その他で質疑あり

第3部

本年度の地域の議題に関する懇談

03 玉縄 3-1	「感染症の流行を”災害”と捉えた地域防災計画の見直しと再編」
03 玉縄 3-2	県道 304 号線、山崎跨線橋南～鎌倉武道館東側の渋滞問題に関して
03 玉縄 3-3	ごみ焼却炉について
03 玉縄 3-4	市庁舎と（仮）村岡新駅について
03 玉縄 3-5	鎌倉グランマークス前の市道の休日（特に土曜日）における渋滞について

令和3年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	03 玉縄 3-1
テーマ	「感染症の流行を”災害”と捉えた地域防災計画の見直しと再編」
内容詳細	<p>1 地域防災計画に感染症対策や有害動植物による被害対策を盛り込む</p> <p>市の地域防災計画に樹立されている災害よりも、発生頻度がより高い感染症の流行や有害動植物による健康被害を含めたリスクを災害対策の対象とするための提案です。具体的には、COVID-19 とその変異ウイルス、インフルエンザ、毒蛇、スズメバチ、チャドクガ、農地に対する農薬・除草剤の散布等による健康被害を災害リスクとして、その軽減や排除のための施策を新たに構築することを希望します。有害動物の駆除を消防活動に加えるための教育や資器材を配置すること、また、感染症流行防止は、市外観光客等の市内密集地域への移動の禁止などを盛り込むことを提案します。</p> <p>2 鎌倉市立市民病院の開院の希望</p> <p>神奈川県東部では、鎌倉市と逗子市だけに市立市民病院がないことから、県内の災害拠点医療機関としての位置づけで、「鎌倉市立市民病院」の開院を希望します。湘南鎌倉総合病院だけに依存しない災害医療が可能な医療機関の設立を、新庁舎建設に優先して行うことを提案します。</p>
担当部課	市民防災部総合防災課／健康福祉部市民健康課

議題に対する回答等
<p>1 地域防災計画における災害とは、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）の第二条により、暴風、竜巻、豪雨等と列挙されて定義されており、御提案の内容は含まれていないため、地域防災計画に位置付けることはできません。</p> <p>市では、想定されるリスクに応じて、それぞれ計画等を策定して対応することとしています。（総合防災課）</p> <p>感染症については、例えば新型インフルエンザについては「鎌倉市新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定するなど、地域防災計画とは別に、その対策についてまとめています。感染症流行防止のための移動の禁止については、緊急事態宣言</p>

等、国・県の管轄となりますので、本市としてもその方針決定に従い対策を講じてまいります。（市民健康課）

2 市民病院の整備計画については、過去に検討しましたが、本市における医療の現状や、本市の規模で持続可能な収支状況を継続させることは大変難しいこと等の理由により断念しました。災害医療体制の更なる充実につきましては、湘南鎌倉総合病院をはじめとした市内の病院、鎌倉市医師会や関係各所と連携し、引き続き協議してまいります。

添付資料

第3部 本年度の地域の課題に関する懇談

① 「感染症の流行を”災害”と捉えた地域防災計画の見直しと再編」

<ガーデンハイツ鎌倉玉縄自治会 三好会長>

これを提案した背景ですが、今、玉縄地区では各小学校区、中学校区で避難所運営マニュアルの策定に力を入れております。

実は、関谷小学校ですが、関谷小学校で避難所マニュアルを作ったが、結局このコロナ禍の状況で計画を見直しする必要があるということで、受付をする時にどうやって感染者を市民の目で見分けるのか、あるいは避難所がクラスターの原因になってしまう、そういうリスクをどう回避したらいいのか、そういうところが一切分からないわけです。

そういうことで、今は多少文章化をしているのですが、それでもまだ解決しなければならない問題が山積しておりまして、5月のゴールデンウィーク明けに総合防災課に我々が作った避難所マニュアルの案をお持ちして中身を点検してもらえないかということで、お預けしております。7月になってもまだご回答がないのですが、そんなところから感染症のパンデミックというのは、これだけ世界的な現象で、これだけ市民にいろんな影響が出ている。これは災害の一つではないかということを考えた場合に、地域防災計画を作って避難所運営マニュアルを作成する段階でも影響が出てきている。

まず災害の基本法というのは、災害対策基本法と災害救助法の二つあります。それをそういった前提となる災害の内容というのは必ず「等」と書いてあります。ということは、それは地域の実情に応じて、それに見合った対策をそこで自由に立てなさいということだと思います。感染症は災害ではないと排除しないで、そういったところも少し柔軟に頭を切り替えていただきたい。

それからもう一つ。有害動植物ですが（スズメバチ・チャドクガ等）、私は以前ある市町村の消防本部に勤務しておりましたけども、全て消防隊の消防活動として対応していたわけです。鎌倉市は、これをやっておりませんのでできればその窓口も広く捉えていただきたいという意見でございます。

<松尾市長>

ありがとうございました。参考にさせていただきます。

令和3年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	03 玉縄 3-2
テーマ	県道 304 号線、山崎跨線橋南～鎌倉武道館東側の渋滞問題に関して
内容詳細	<p>県道 304 号線に並行する、市が所有している旧国鉄の軌道敷跡地を活用し、県道を拡幅することにより、当該区間の渋滞問題を解消できる可能性があると感じます。</p> <p>当該地の利用に関しては、鎌倉市の計画があるかと存じますが、路線バス、湘南鎌倉総合病院やコーナン大船モールの送迎バスなどの運行コースにあたっており、地域住民の貴重な足となっています。優先順位を尊重した都市計画の樹立と、市保有財産の活用を考慮ください。</p>
担当部課	都市整備部道路課

議題に対する回答等	
<p>県道 304 号腰越大船については、隣接する JR 引込線跡地を活用して道路拡幅及び交差点改良を行うよう神奈川県藤沢土木事務所に要望しており、令和 4 年度以降、山崎跨線橋への右折レーンの延長や交差点内道路目違いの解消を行う計画となっています。これにより交通渋滞が緩和されるものと考えています。</p>	
添付資料	

- ② 県道 304 号線、山崎跨線橋南～鎌倉武道館東側の渋滞問題に関して
質疑なし

令和3年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	03 玉縄 3-3
テーマ	ごみ焼却炉について
内容詳細	2,000万人の観光客が訪れる鎌倉に、自前の焼却炉がないのはとても理解できません。野村総研の跡地でもよかったのではないのでしょうか。
担当部課	環境施設課、公的不動産活用課

議題に対する回答等

本市では、限られた資源やエネルギーの有効利用による環境負荷の少ない循環型社会の形成のため、焼却量や最終処分場量を限りなくゼロに近づける「ゼロ・ウェイストかまくら」をめざしています。

燃やすごみの処理手法については、焼却施設を建設する場合と建設せずに資源化を進めた場合を比較した結果、資源化を進めることが最適であると判断しました。徹底した減量・資源化を進め、燃やさざるを得ないごみは、鎌倉市、逗子市及び葉山町の2市1町で策定したごみ処理広域化実施計画に基づき、逗子市の既存焼却施設で処理をすることとしています。広域化は、連携する市町村の区域を自区内として捉えるものです。

また、国においても財政的負担や人材不足、エネルギー効率、気候変動への対応の観点から、広域化や民間活力導入による焼却施設の大規模化・集約化を進める考えが示されています。

なお、新ごみ焼却施設を検討した際には、生活環境整備審議会から建設候補地として答申を受けた野村総合研究所跡地、深沢クリーンセンター用地、深沢地域総合整備事業区域内市有地、山崎下水道終末処理場未活用地の4箇所について、庁内組織で比較検討を行い、山崎下水道終末処理場未活用地を最終候補地として選定した経過があります。現在、旧野村総研跡地における梶原四丁目用地利活用事業については、本市公的不動産活用推進方針で定めた「自然と環境を生かした利活用（市民への開放を含む）と企業誘致」の基本方針のもと、「公共的サービス」と「民間収

益事業」を両立させた「公共的収益事業」の実現を目指し、公募により選定した事業者と基本協定及び契約の締結に向けて協議を進めています。

添付資料

③ ごみ焼却炉について

<玉縄台自治会 草道会長>

ごみ焼却炉についてですけど、非常に今泉クリーンセンターの方々は、よくやっけていただいていると思います。なぜ私がこれを出したかという、今、今泉クリーンセンターには生ごみが積み重なっています。以前、行った時よりも非常に臭いも多くて、市に聞きましたら今泉クリーンセンターから名越クリーンセンターへ大型トラックで搬送していると、もう確か2年以上になると思います。あのようなごみ、生ごみは特にそうだと思いますが、早い処理をしていかないと臭いが多くなるし、それから名越クリーンセンターも、あと3年か4年でなくなってしまう、そうした時に逗子で賄えるだけの規模の処理センターがあるのか。そういったことも我々に知らせていかないといけないのではないのでしょうか。臭いも分からないような処理施設もあるそうですから、やはり、その辺も考えていただければと思います。

日立造船という会社がありますが、昔は造船をしていましたが、今は焼却炉を作っている。それで、国の仕事としてロシアに日立造船がごみ焼却炉を作っているそうです。中東か何かの国でも日立造船の焼却炉を買っている。非常に臭いが少なくて発電もするそうです。鎌倉でも、例えば、日立造船の焼却炉を作って発電もすれば、一挙両得ではないかと思えます。なるべくそのような処理、方針、決断を早くしていただいて、今泉クリーンセンターの後、それから名越クリーンセンターの後、それから逗子と連携するのであれば、その後どのようにするかというものを早く結論を出していただきたいと思えます。

<松尾市長>

確かに、その全体像というところが十分に伝えきれていないところが、私どもの責任だということだと思っております。

ご案内のとおり、今泉クリーンセンターでは、積み替えで一時ごみを貯めているという状況がありますが、臭いの問題につきましては、近隣の方々と丁寧にお話を伺いながら、きちんと対応させていただいているところです。もちろん、まだまだ100%にはなっておりませんので、そこは十分対応をしていくようにというところで努めております。

また、名越クリーンセンターにつきましては、焼却施設が終わった後、こちらも新たに中継施設の建設を予定しております。近隣の方々にはすでに説明に入っている状況でございます。今、発電の話もございましたが、現時点で鎌倉のごみの焼却施設をつくっての発電というところでは、なかなか発電効率は十分ではないことから、実際には大きな焼却炉をつくっていくことになっていくことから、鎌倉とすると、広域で逗子市の方で一部お願いしながら、そこが賄いきれない部分については、民間の事業者と連携をしながら処理をしていく形で進めて、全体をもう少し分かりやすく丁寧に説明してまいりたいと思えます。

令和3年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	03 玉縄 3-4
テーマ	市庁舎と（仮）村岡新駅について
内容詳細	これからお金の問題が多くなると思いますが、「観光税」を取られてはいかがでしょうか。1人100円で20億円、200円で40億円になります。鎌倉駅や（仮）村岡新駅、観光する寺社などで徴収すればできるのではないのでしょうか。
担当部課	市民防災部観光課

議題に対する回答等	
<p>観光税の導入については、法定外目的税として検討を行ってきた経過があり、税として徴収する場合、公平性の観点から、鎌倉駅や（仮）村岡新駅の利用者から徴収するだけでなく、その他の市内の交通機関の駅での徴取、徒歩や自家用車など他の方法での来訪者からも徴取をすることが必要であり、その徴収方法や徴収に係るコストが課題となります。</p> <p>また、駅や社寺、観光施設で税を徴取することは、利用者へ少なからず負担が発生することから、駅や社寺、観光施設の理解と協力が不可欠です。</p> <p>今後も、観光税に限らず収入の確保について、調査研究等を進めていきたいと考えています。</p>	
添付資料	

④ 市庁舎と（仮）村岡新駅について

<玉縄台自治会 草道会長>

今、京都が大変なことになっていますね。それで、日本全国の観光地、京都と鎌倉ではないかと思います。そのくらい有名な鎌倉だと思います。ある情報によると年間に2,000万人、鎌倉を訪れるそうです。例えば、100円もらったら20億になります。そのもらい方ですが、鎌倉に来た記念に、観光で思い出になるような鎌倉に来ましたと日付を打刻してある、ラミネートした小さなチケットみたいなものを自動販売機で売ったらいいのではないかと。2,000万人の方がもし使ったとして、100円で売って20億です。自動販売機ですから、先ほど観光税というと確かにいろんな制約があると思いますが、自動販売機でこのお金は鎌倉市をきれいにすることに使いますというような文句でもいいと思います。このような自動販売機で少しでも収入になるもの考えていくとよいと思って、こういうことをしたわけですけど、せっかく新駅ができるので鎌倉にちなんだ名前でもネーミングでもつけていただく。北鎌倉とか、鎌倉とか、江ノ電の鎌倉駅とか、長谷寺とかは全部分かりますので、そういうところに置いて、自動販売機で鎌倉に来た記念に、定期券みたいなものを作れば良いと思います。

<松尾市長>

村岡の新駅の話も触れていただいているところでして、いろいろとお声をいただく中では、村岡新駅と仮称にしても藤沢の名前だけしかないじゃないかという声もいただくところです。

JR東日本横浜支社の方では、この新しい駅の名前については、公募も検討しているという支社長のお話もありますが、今後、具体的に名前を決めていくという中においては、私も希望としては鎌倉のゆかり、鎌倉にちなんだ駅の名前になっていくといいなと思うところではございます。

令和3年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	03 玉縄 3-5
テーマ	鎌倉グランマークス前の市道の休日（特に土曜日）における渋滞について
内容詳細	<p>鎌倉グランマークス前の市道は休日になると、近所のコーナンへの行き来する乗用車の影響で渋滞が発生している。特に両方向とも渋滞すると救急車の通行や、住民が駐車場から車を出すのにも支障が生じている。</p> <p>コーナンだけで解決するのは難しいので、湘南鎌倉総合病院入口交差点からの進入禁止など、抜本的な対策を行って救急車も通れないような状態は改善すべきと考えます。</p>
担当部課	まちづくり計画部都市計画課

議題に対する回答等

進入禁止等の交通規制は、警察にて実施するものであることから、御要望を当該エリアを管轄している大船警察署に伝え、鎌倉グランマークス前の市道（市道：050-000号線）における休日の交通渋滞対策についての意見を伺いました。

大船警察署からは、湘南鎌倉病院入口交差点を右折し、当該市道への流入量を減少させることを目的とした交通規制を実施するためには、周辺交通への影響を十分に考慮する必要がある、周辺住民等の合意が必要となるとのことでした。

そのため、所轄である大船警察署に対して、自治会単位で交通規制の要望を行っていただくことが必要となります。

添付資料

⑤ 鎌倉グランマックス前の市道の休日（特に土曜日）における渋滞について

<鎌倉グランマックス自治会 白井会長>

最近、コロナ禍ということもあってコーナンへ買い物等で来られる方々が、地域の鎌倉市民や近くの横浜市の方々だけでなく、他の車のナンバーの方が多く見受けられます。その方々がカーナビとかで、通常は大船フラワーセンターから入って植木の方へ抜ける方の道から入ってお店に行く、それで出る時は、左折と案内されるので、左折すると湘南鎌倉病院があってグランマックスがある。そのルートでは、今までは渋滞だったが、最近（カーナビが）賢くなったのか裏道を案内してくれるのか分かんないですけど、逆ルートも使うようになってきたり、またあそこの藤沢方向から来て四季の杜住宅地内を通る地域、要するに横浜とか湘南ナンバーではない車も目立つようになってきました。

今回は確かに市の言っているとおり警察署を通すというご回答で理解していますが、本当の住宅地の中に入ると子ども達とか遊んでいる、まして歩道とかに柵とかがないと、つい最近もどこかであったあのような事故で死亡者が出るということもありますので、通学路でもありますから、今回はテーマとしては、土曜日とか日曜日で通学時間ではありませんが、そういうことも考えられますので、市としても見てほしいなと今回テーマとして挙げました。回答としては理解しました。

<まちづくり計画部 林部長>

補足ですが、湘南鎌倉総合病院が増築されていて先端医療棟が出来上がって、またその他のところについて工事をされています。その関係もあって、私も現場に土曜日に行きました。

湘南鎌倉総合病院さんから出てくる一般車、それからタクシーとマイクロバスと救急車と、ちょうど信号の待ちのところから出てくるものですから、今工事していることもあって、ちょうど重なってしまうというのは、特にあるのかなと思っています。これについては、湘南鎌倉総合病院と交通を所管していますまちづくり計画部で今後どのようにしていったらいいのか協議しておりまして、改善に向けて努力をさせていただくということでお話しさせていただいております。しばらく工事は続きますが、そちらも含めて、そういったことは見守るとともに警察の方については窓口のご案内等をさせていただきたいと思っています。

<台新町自治会 大嶋会長>

②と⑤についてあわせてお話しさせていただきたい。

山崎跨線橋南ですが、私は議題を出す時に北のことも併せて議題としてほしいと出したのですが、その辺の認識を伺いたいということと、こんなふうを考えていただけたらなとお話したいと思います。今のお話にありましたが、この地域は湘南鎌倉総合病院ができたり、それからコーナンができたりと、ここ何年かで大きく変わっています。また、ここへきて大船駅東口に抜ける跨線橋ができて、またそこに通運が集中している。そこを基点にして南、北、それから北の跨線橋に入る大船からの道、それから藤沢からの道、それから関谷からの道と、全部関連しているようなものですね。

どうかお願いしたいことは、そのあたりを南と限定することなく、この地域の交通の流れということを総合的、俯瞰的に見ていただきながら、その解決方法を探っていただけたらと思います。限られている予算を効果的、効率的に使っていただけて、本当に難しい課題もあるかと思いますが、よりよい方法を探っていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

＜まちづくり計画部 林部長＞

交通につきましては、鎌倉市交通マスタープランというものがあります。こちらについては、見直しに向け検討しているところです。

山崎の跨線橋の北には、右折レーンがありません。県の工事で跨線橋が出来て、今後、南の改修もしますが、ほかにもいろいろなところで課題はあります。そのような全体的な交通のプランの見直しということについて、その中で検討していきたい。それを進めていく中では地域の皆さんのお声も聞かせていただきたいという考えでおります。

その他

＜坂本町町内会 市川副会長＞

第二部にありました岡本二丁目マンション跡地についてです。土地自体の解決は市にお任せするところですが、年度末ぐらいですか、ちょうどマンション跡地を駅の方から見ますと左手にあって、その前に復元された外壁があります。その擁壁を市がクリーニングしたのでしょいか、きれいになりましたが、直近の雨が続いたことで、石積の目地から、結構上の方や途中から水が出ていました。その辺は、見ていただきたいと思います。玉縄地域ですと、山が保水をしているはずなのですが、栄光坂のところなど度々崩れていたりするというのもあって、最近きれいになったばかりで、なぜ水が吹いているのかなと気になりました。災害の被害もいろいろ出ているというようなこともありますので、そういう交通の幹線とか擁壁ですとか、そういうところの小さい変化のところも市のほうで、よくパトロールしていただければと思います。

当然、我々自治会や住民も気付けば、ご連絡を差し上げたいと思いますが、よろしくお願いします。

＜都市整備部 森部長＞

今おっしゃいました要因ですが、2年ほど前に目地を全部埋める作業をしました。それで、目地が白くなったりとかするので少しきれいに明るくなったように見えると思います。

この前の雨は、私どもにも連絡がきておまして、擁壁には必ず目地からではなく、パイプを入れて水を逃す箇所があります。岩盤と地層が変わっているところに水道がありまして、ちょうどそこが高い位置からの水抜きから水が出ていると思います。工事する前も、ちょうどバス停が以前あったところは2m50cm位のところから水が出ているような状況です。

水が出る場所が分かっておりますので、下向きにして皆さんが通行しやすいようにとか、工夫をしようと思っています。水が出るようにつくっておりますので、大丈夫です。点検とかも私どもがいたしております。

＜坂本町町内会 市川副会長＞

普通の水抜きだと結構大きい丸パイプみたいに見えると思いますが、小さく見える。大きいサイズだとパイプから出ていると分かりますが、そのように見えないので、入れたパイプは細い小口径のものを入れたということですか。

＜都市整備部 森部長＞

新たに入れていないのでおそらく昔からあったと思います。その辺も含めて雨の時に確認します。

＜後日回答 都市整備部 都市計画課＞

昨年度の修繕工事の際に、現場の都合上、既設の水抜き穴に一回り小口径のパイプを入れ修繕しました。現状水抜き穴から排水されており、土砂の流出も見られないため、構造上問題ないと考えておりますが、今後は専門業者と相談しながら、水抜き穴の増設等を検討してまいります。

＜鎌倉ロジュマン自治会 藤原会長＞

今後の処理の方針の生ごみの中で燃やすごみというところで、いろいろ家庭用とか事業用ごみ、いろいろ出ていますが、今、私がちょっと大学の先生といろいろやり取りしていますが、貝殻を細かくして、特に牡蠣の貝殻ですと漆喰にもなるような状態ですので、事業用ごみの中でもう一つ分別していただいて、漁業組合と話し合いをして、牡蠣とか貝殻ですからアルカリ性が強いので、その成分も分析しながらできるはずです。燃やすことを考えないで細かくして海に戻すと、またそこに再生される、こういうことを計画の中に取り組みでいただきたい。燃やすことだけを考えるのではなくて、細かくしてそれを再生利用するというような計画も一つの方法ではないでしょうか。一度ご検討していただければと思います。

＜環境部 能條部長＞

燃やすごみをできるだけ環境負荷をかけない形で減らしていきたいと思っていますので、いろんな技術も進歩してきておりますし、いろんな研究がされているというのは、私どもも情報収集に努めているところでございます。今日ご提案いただきましたので研究はしていきたいと思っています。

＜観音山町内会 塩田会長＞

第1部に戻りますが、まずワクチンの件ですが、第1回目を受けると次の2回目の日にちが8月の頭くらいになると思いますが、2回目の分のワクチンは、もう確保されているのでしょうか。

もう一点ですが、ごみの戸別回収が以前から言われておりますけども、町内会はどこも一緒だと思いますけども、独居老人とかが非常に多くて、ごみをごみ収集場所まで持っていけない方がだんだん増えてきています。戸別回収について進捗状況はどのようになっているか教えていただきたいと思っています。

＜健康福祉部 田中部長＞

市に配送されておりますワクチンで、第一部の資料で、接種の開始時期、3枚目のワクチン接種スケジュールというところで表がありますが、接種の開始時期を明確にここにお示しさせていただいた分につきましては、2回目までのワクチンは確保している状況です。その後、今後の計画でワクチンがどのくらい供給されるかということをもちまして59歳以下の方につきましては、それが分かり次第、どのくらい予約が取れるかということも含めてスケジュールをお知らせしてまいりたいと考えています。

＜観音山町内会 塩田会長＞

では2回目も大丈夫ということですか。

<健康福祉部 田中部長>

はい。今、この表にある基礎疾患の方とか高齢者の施設の従事者とかについては、2回目までは確実にございます。

<松尾市長>

ごみ収集についてですが、お話をさせていただいたとおり、費用がかかるというところでの課題が、なかなか解決できていないところでございます。具体的には、鎌倉市は今、生ごみの資源化施設として今泉を予定候補地としています。これは、収集していくという中においては、戸別収集というのも一つの方法になると考えておりまして、こういうところとも併せて戸別収集の実現に向けて研究、取り組みをしてみたいと考えているところです。